

西高 鼓支動

だより Sound of Heart

山形県立酒田西高等学校
(通算第92号)
平成27年2月27日

いままでの12年とこれからの12年 校長 諸原 正巳



三年次生のみなさん。ご卒業、おめでとうございます。三年間、通い続けた学び舎を後にする一抹の寂しさが漂っている自分と、自ら選んだ道をこれから歩む期待と希望に胸が膨らんでいる自分という「二人の自分」の存在を感じていることと思います。かつて、一度だけ三年生全体にお話する機会がありましたが、その時の結びに使った言葉を覚えていますか。「心が変われば意識が変わる。意識が変われば態度が変わる。態度が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる」。この言葉は、高校生活を送るにあたってだけ通用するものではなく、社会人として生活していく上でも大いに役立つものだと思います。ここから先は、多くの人たちにとって、未知の世界へ一人で飛び込んでいくこととなります。一人で判断しなければならぬことも多々あるでしょう。何回となく壁にもぶつかるはずですが、そういう時に、この言葉を思い出してください。自分で選んだ道です。どんなに辛い環境にあろうとも、「かくありたい」姿を目指し、前を見据えて頑張ってもらいたいと思っています。今日で12年間の学校生活が終わることになります。しかし、人生こうありたいと願う「道」を切り拓く試練は、これからの12年にあると思っています。皆さんが30歳になったときに、どういうステージに立って活躍しているか、大いに楽しみにしています。

門出にあたって 教頭 石寺 一秀



卒業おめでとうございます。3年間の年月が皆さんを立派に育み、門出のときが近づいてきました。校舎からいつも眺めていた鳥海山は、いつにも増してキリッとそびえ立っているのではないのでしょうか。今の社会は変化の激しい時代です。遠い国の経済政策や地域紛争が、すぐに私たちの生活に影響を及ぼします。皆さんが歩まれる人生は一度列車に乗れば自動的に目的地に着くような旅ではなく、土砂崩れのためにバスに乗り換えながら目的地に向かうような、そのときそのときの決断が求められるでしょう。そのとき大切なのは、身におこるトラブルを試練と捉え、「試練を通して自分が成長する」という具合に積極的に前進する姿勢だと思います。その昔、「急行」が初めて走ったときに怒った人がいました。「乗る時間を短くして運賃が高いとはけしからん」という理由だったそうです。車窓から見える風景を楽しみ、旅人同士の触れ合いに心を温める。旅それ自体に価値があると考えたのでしょうか。時間の短縮など効率化も大切ですが、仕事を楽しむことも忘れないようにしたいものです。結びに、皆さんを手塩にかけて育ててくれた保護者への感謝の気持ちを、「ありがとうございました」と伝えてくれたらうれしいです。健闘を祈ります。

いい出会いを大切に 三年次主任 中島 崇裕

いよいよですね。卒業おめでとうございます。この3年間、いろいろな経験をしたと思いますが、その中で一番の宝物になっているのは友人たちとの思い出でしょう。部活が終わって、夕日が沈む校庭からたわいもない会話をしながら、笑顔で自転車をこぐ生活も、もう二度とすることのない思い出の1ページになりました。でもこのつながりは一生無くなることのない大切な絆です。4月からはみんなバラバラの生活にはなりますが、みんなどこかの地で頑張ります。ここで培った力を振り絞って頑張ります。つらいことがあったときはここでの仲間のことを思い出すとちよつとは気が楽なのではと思います。決して1人ではありませんよ。一方で、また新しい出会いもあるはずですが、それも楽しみです。その人たちの中には皆さんの一生を左右する人がきっと含まれているはずですが、大切な絆にして下さいよ。私から卒業生の皆さんに贈る言葉は、皆さんが高校に入学してきたときにお話したことと同じです。「いつでもいいことはやりましょう！必ず行動を起こしましょう！！悪いことは絶対やってはダメです。それは自分のためです。」是非続けて下さい。それでは、これからも皆さんがよい出会いに恵まれますよう、お祈りしています。合掌。




卒業おめでとう。皆がここまでやってこられたのは、当然、自分の努力もあるが、保護者や先生方の助けがあったこと。感謝の気持ちを忘れないでほしい。小・中・高校とレールの上を走ってきたが、これからは自分の将来をしっかりと見据え、自分自身でレールを引いてもらいたい。皆の未来に幸多からんことを。
三年一組 担任 高橋 正知



「この地球(ほし)に楽園がないなら作りに行こう。乗りたいと願うときどこでも旅ができる。切り開く広い大地、青く大きい美しい空。あなたとの物語、いつまでも、どこまでも♪幸せの黄色い列車♪」
卒業おめでとう。
三年二組 担任 池野 克哉



十年後の私は、カナダでオーロラを眺めながら最高のコーヒーを飲んでいる。二十年後の私は、寸部まで思い通りに建てた家で最高のコーヒーを飲んでいる。みんなは十年後二十年後、どうなってる？自分の人生をどうしたい？夢を夢で終わらせないというその気持ちが、みんなの前途を明るく照らす。みんなが自分から切り拓いていく人生に幸多からんことを、みんなの夢が思い通りに実現することを心から祈ります。
卒業おめでとう。
三年三組 担任 阿部 瑞枝



卒業おめでとう。そしてこれからまたスタート。今の気持ちを忘れずに、全力で駆け抜けてください。新天地での活躍に期待しています。
三年四組 担任 高橋 亮



卒業おめでとう。目の前には人生というゴールの見えない長い道が続いていきます。千里の道も一歩からです。朝を迎えるごとに、今日何を為さなければならぬのかしっかりと考え、一生懸命に努力することを継続してほしい。自分の人生を幸せな路にするために。
三年五組 担任 池田 健

3年次センター試験直前激励会

毎年恒例の「センター試験直前激励会」が行われました。1月16日(金)、校長や進路課長をはじめPTA学年委員長、年次主任、各担任、教科担任が、心強い言葉や

ユーモアあふれるアドバイスで、翌日のセンター試験を受験する3年次生を激励しました。西高生の皆さん。今までの努力の成果を存分に発揮してください



音楽選択生 室内コンサート

2月2日、酒田市民会館希望ホール小ホールにて「芸術コース(音楽)室内コンサート」を開催しました。本校芸術(音楽)コースの生徒、音楽系の授業選択者、音楽部生徒のべ60名が出演し、1年間の授業や部活動の成果を発表しました。特に3年次生「演奏法」の選択者は、慣れない会場の響きや照明、何より一般の方々も多数いらした中で、緊張しながらも各自最高のピアノや独唱を聴かせてくれました。また、3年次芸術コースの生徒が作曲し、県のコンクールで入選した作品を1, 2年次生が披露するなど、音楽を通じての交流も披露しました。厳しい天候の中でしたが、小ホールはお客様で溢れ、心温まる演奏会となりました。



美術・書道選択生 修了作品展

1月24日(土)から2月1日(日)までの8日間にわたって、さかた「街」なかキャンパスにて、本校で美術・書道を選択している生徒による第6回修了作品展が実施されました。本校では特色ある教育活動の一環として芸術コースを設置し、その特性を生かした、豊かな完成の育成と多様な進路実現を目指し、多面的な取り組みを実施しています。会期中は大勢の市民の皆さんよりご来場いただき、本校芸術コースの学習成果を具体的に感じていただくよい機会になりました。



演劇部いろいろ感謝公演



「いのちをいただく」という絵本と、詩二編(石垣りんさんの「くらし」、吉野弘さんの「生命は」)から構成した、20分足らずの公演でしたが、40名以上の方から観ていただきました。終演後の山形芋煮もおいしく食べました。

合唱班ミニコンサート

音楽部合唱班は、少ない人数ですが聞いてくれる人の心に届くような演奏を目指し、日々練習に励んでいます。ミニコンサートでは予想をはるかに上回る聴衆の前で楽しく演奏できました。聴きにきてくれた皆さんありがとう!

